

劇団四季

そのひとは、夢に生き、  
野心に燃え尽きた。

浅利演出で鮮やかによみがえる、33年の生涯。

浅利慶太 追悼公演

劇団四季ミュージカル

by arrangement with The Really Useful Group Ltd.

# EVITA

エビータ

初演日本版演出：浅利慶太 作曲：アンドリュー・ロイド＝ウェバー 作詞：ティム・ライス  
振付：加藤敬二 美術：土屋茂昭 照明：沢田祐二

10月25日 金 18:30開演 一関文化センター 大ホール

# 野心と情熱で大統領夫人へと駆け上がったエバ・ペロン。 ひたむきな生きざまに迫る、鮮烈の浅利演出。

2018年7月に永眠した劇団四季創立者で演出家の浅利慶太を悼み、「浅利慶太追悼公演」としてお届けする『エビータ』。  
数多い海外翻訳ミュージカル作品の中で、1982年に浅利によるオリジナル演出で日本初演を飾って以来、より深く主人公エバ・ペロンの人生を掘り下げ、重厚な人間ドラマへと昇華させた決定版。それが今回お届けする劇団四季の『エビータ』です。  
作曲家A・ロイド＝ウェバーと作詞家ティム・ライスのコンビによる最高傑作と言われるこの作品で、浅利は初めて訳詞を手がけました。  
劇中、主人公エバが民衆に歌いかける名曲「共にいてアルゼンチーナ」の歌詞には、苦しい時期を乗り越えてきた劇団の仲間たちへの想いが重ねられています。  
私生児として生まれ、貧困の底から自らの力で這い上がり、アルゼンチン大統領夫人にまで上りつめた実在の人物エバ・ペロン。夢と情熱にあふれ、野心に燃え、ひたむきに生きた33年の短い生涯は、私たちに限りない勇気と力を与えてくれます。  
浅利演出でよみがえる、ひとりの女性の鮮烈な人生のエネルギーを、あなたのものに——今、祈りと共にお届けします。



**STORY** 1952年7月26日、アルゼンチンは大きな悲しみに包まれていた。「エビータ」の愛称で民衆から絶大な支持を受けた大統領夫人エバ・ペロン。33歳での早すぎる死を悼む人々で、首都ブエノスアイレスの街は埋め尽くされた——。  
貧しい片田舎で私生児として生まれたエバは、都会に夢を託してブエノスアイレスへ。野心と美貌を武器に、男たちを踏み台にして自らの運命を切り拓いていく。どん底の暮らしから女優の道へ、そして大統領夫人へ。民衆から圧倒的な支持を受け、成功への道を一気に駆け上がったエバ。しかし、金持ちや貴族から容赦なく金を取り立て、貧しい人にばらまく「福祉政策」が国の経済を破綻させてしまう。さらにその頃すでに、彼女は病魔に侵されていたのだった……。

※写真はすべてこれまでの公演より

「四季の会」に  
入会しませんか？

「四季の会」にご入会いただくと、いち早くチケットがご予約いただける先行予約など、さまざまな特典がございます。  
お問い合わせ 劇団四季 TEL.0570-008-110

ご入会は  
こちらから



浅利慶太 追悼公演  
ラインアップ  
自由劇場 (東京・浜松町)



## 2019年 10月25日(金)

開場18:00 開演18:30  
一関文化センター大ホール

7月10日(水)チケット発売開始

全席指定  
S席 8,800円  
A席 6,600円  
B席 3,300円

当日料金は、各料金より500円増しです。  
未就学児童のご入場、乳幼児のご同伴は  
ご遠慮下さい。

チケット  
一関文化センター 0191-21-2121  
さとう屋楽器店 0191-23-2262  
コープ一関コルザ 0191-26-3331  
小原書店 0191-75-3151  
コープ水沢アテルイ 0197-51-0088  
ローソンチケット Lコード 22670  
チケットぴあ Pコード 493-306  
e+(イープラス) <http://eplus.jp>

主催/NPO法人一関文化会議所  
お問い合わせ/一関文化センター 0191-21-2121

※当日は駐車場の混雑が予想されます。満車の際は近隣の市営・民間駐車場のご利用をお願いいたします。また、お越しの際は時間に余裕をみて、お早めにお出かけください。



パソコンから一関文化センターホームページへアクセスすると、本公演の空席状況を見ながらチケット予約ができます。

スマートフォン等お持ちの方は二次元コードを読み込んで公演情報をチェック!  
一関文化センターホームページ・Twitter[ツイッター]・Facebook[フェイスブック]

